

図書館予算についての要望書を提出

当協会は一面記載の通り六月三十日付で、公立図書館の図書購入費の国庫補助についての要望書を、文部大臣ならびに衆・参文教委員、関係当局に提出した。今回の要望は、図書購入費補助を設け、相当額の予算を充当してほしいとの主旨の一般論を要望し、次回から必要あれば具体的内容を盛り込んだ要望書を提出していく予定である。次に要望書の全文を掲載する。

公立図書館の図書購入費の国庫補助についての要望

わが国政府が日頃から学術・文化の発展に対し、種々ご苦心、ご理解をお示しただいておりますことに対し、ますます深い敬意を表するものであります。しかしながら、政府の図書館行政に對しましては、私も出版界として大きな疑問を持つものであり、次の点についてぜひ格別の改善方をいただきたく、ここに出版業界の意のある所をご要望申し上げます次第であります。

記

要望事項

公立図書館に対する政府予算の編成に當っては、図書購入費補助をぜひ設け、これに相当額の予算を充当していただきたい。

理由

一 国の文化水準を示す尺度として、教育の普及、識字率の高さとともに、図書館の普及、利用率があります。今日において、図書館の発展と普及は、文化福祉国家として必須の要件となっており、さらにまた、今後の一国の文化形成の上にはますます重要な役割を果す存在ともなり

つつあります。

しかしながら、教育・文化を支える柱であるわが国の図書館の現状を見ると、住民の利用は急速に高まっているにもかかわらず、蔵書の貧弱さが目立ち、また地域により極端な設備・蔵書の差が生じております。一方、私も出版社に對し、数多くの図書館から、図書寄贈の申し入れがあります。諸施設を整えた図書館の

建物があっても、蔵書を整える予算が乏しいためであります。図書館は建物とともに、児童、学生、主婦、勤労者、学者研究者の要請に、何時でも応じられる蔵書を備わってこそ、図書館としての機能を發揮し、利用者は急増し、住民の福祉も確保されるものであります。

さらにまた、最近のごとく学術・科学が急速に發展すると、情報が細分化、専門化し、学術書、専門書の必要性が強まってまいります。しかしこの種の出版物は、対象分野が狭まる程、限られた部数となり、必要とする国民の目にふれないという事態も起こりかねません。公立図書館は、こうした学術書・専門書の図書購入費を確保し、当該出版物を常備保管し、利用の便に供して、明日のわが国の学術・文化を支えるという、重大使命もまた持っているのであります。

わが国政府が図書館行政に對し積極的な姿勢を示し、公立図書館に對して大幅

な図書購入費の国庫補助を行うことは、地方自治体をも刺戟し、全国の図書館が發展し、利用度も急速に伸長いたすものと確信いたします。

わが国の学術・教育・科学・文化をさらに振興させるためにも、また国民の文化の公正な享受と福祉の充実はかるためにも、一国の将来を考慮した文化政策の実現を要望いたします。

追伸 社団法人 日本書籍出版協会は全国の出版社によって組織された、わが国を代表する出版団体であり、会員社三七四社で構成いたしております。図書館問題について、疑問点、ご意見などございます際は、左記連絡先にご一報いただきますようお願い申し上げます。

連絡先

東京都新宿区袋町六

社団法人 日本書籍出版協会

電話 東京 二六八局 一三〇一番